

舵輪



第149号
2017年春 発行

舵輪は(公財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

1月～3月の行事結果

パワーバレンタインウィーク



2月11日(土)～2月14日(火)の4日間は、「パワーバレンタインウィーク」と銘打って恋人たちを応援しました。2月14日には、恋人たちから事前に受け付けたメッセー

ジ入りの記念乗船券を発行し、祝福しました。

また、乗船料半額や無料という事もあり、多くの方が海王丸を訪れました。

電路工事

2月15日～3月10日にかけて、海王丸の船内の電路工事を行いました。

今回は無線室周りを中心に、古い電線を撤去し新しい電線と取り替える工事を行いました。壁の中に入っていて日頃は見ることの出来ない場所も今回開いて整備しました。断線によって火災が起きる場合があります。日頃のメンテナンスの大切さを再確認しました。

バンディングセイル

4月8日に天候の心配もありましたが、無事に帆船海王丸の全ての帆(29枚)を取り付け完了しました。参加していただいたボランティアの皆様、ご協力ありがとうございました。総帆展帆が楽しみです。



今後の行事予定

| | |
|----------|--------------------|
| 4月23日 | 総帆展帆① |
| 5月3日～6日 | ちびっ子天国 |
| 5月3日 | カッター・セイリング教室 |
| 5月4日 | 展帆体験 |
| 5月5日 | 総帆展帆②・満船飾 |
| 5月20・21日 | 新規養成訓練 |
| 5月28日 | 総帆展帆③ |
| 6月10・11日 | 新規養成訓練 |
| 6月18日 | 総帆展帆④ |
| 7月16日 | 展帆体験 |
| 7月17日 | 登しょう礼 総帆展帆⑤・満船飾 |
| 7月22・23日 | 新規養成訓練 |
| 7月30日 | 総帆展帆⑥・満船飾 |

※都合により、変更又は中止となる場合があります。

総帆展帆

いよいよ平成29年度の総帆展帆が始まります。海王丸を大きくはばたかせましょう。



新規養成訓練



新規養成訓練を平成29年度は6回計画しています。今年度も多数のご応募をお待ちしております。(再訓練の希望もお受けいたします。)

訓練実施日はホームページを参照して下さい。

カッター・セイリング教室

小さなボートを漕いだり、帆走（セイリング）をしてみませんか。

（参加は小学4年生以上）

日時 5月3日（水）09：30～11：50
13：00～15：50

参加費 小・中学生 200円
高校生以上 400円



ちびっ子天国

今年も「ちびっ子天国」やります。

期間は5月3日～5月6日のゴールデンウィークです。おもちゃSLや屋台、縁日コーナー、親子工作教室、フリーマーケット、などなどイベント目白押し。



展帆体験

海王丸ボランティアでなくても帆を張る体験ができます。小学生以上（小学生は保護者同伴）で参加でき、定員は各30名です。運動のできる服装（運動靴含む）でご参加ください。（無料）



5月4日、7月16日

午前 11：00～
11：45
午後 14：00～
14：45

登しょう礼



7月17日の海の日に登しょう礼を実施します。時間は総帆展帆前の10時からです。それに伴いまして、総帆展帆は20分程開始を遅らせます。ご了承ください。

<登しょう礼>とは？

登しょう礼とは全乗組員がヤード上によって相手に敬意を表す事を言い、帆船では最高の儀礼とされています。大型の船が活躍し始めた当時、船といえば帆船であり軍艦でした。上の写真のように、乗組員全員が相手船から見えるヤード上に登るという事は、大砲を打つ砲撃手が船内にいないことを意味します。つまり相手船に対して「私たちはあなたに敵意はありません」というメッセージに使われました。

健康状態の確認について

展帆ボランティアのみなさまに、毎年健康状態の確認をしています。ボランティアのみなさまが登しょう作業を安全に行える状態か確認し、乗組員が留意すべき点がないかを見つけ出すのが目的です。その年の総帆展帆初参加時に行います。ご協力よろしくお願ひします。代わりに健康診断書を提出いただいても構いません。

海王丸ボランティア 会員特典

この度、海王丸ボランティアで総帆展帆に参加して下さった方に海王丸無料乗船券をプレゼントします。ご家族やご友人を誘って海王丸を自慢してください。

着任の挨拶

総務課長

藤田 和久（ふじた かずひさ）



この4月、富山県から派遣され、伏木富山港・海王丸財団に勤務することになりました総務課長の藤田です。3月まで、厚生部高齢福祉課で勤務しておりました。

海王丸パークでは、海の貴婦人と呼ばれる海王丸はもちろんのこと、バックに迫力ある新湊大橋や立山連峰の絶景を楽しむことができます。そして、夜になれば、ライトアップされた海王丸や新湊大橋が海面に光り輝き、昼間とは異なる美しさを目にすることができます。さらに、対岸の海竜マリパークでは、日本海側最大級の新湊マリーナの大規模なグレードアップ工事が着々と進められており、来場者の皆さんにより楽しんでいただくことが可能となります。これからは、温かく支えてくださる本財団の皆さんとともに、イベント等を通じて、こうした素晴らしい風景・環境を広く発信し、このベイエリアの益々の発展につなげていけるよう、頑張ります。

海事課長（一等航海士）

木戸 秀太郎（きど ひでたろう）



4月1日付けで海事課長に着任いたしました木戸秀太郎と申します。大阪で生まれ育ち、現在は長崎に住居を構えております。2代目帆船海王丸には、三等航海士として乗船時の遠洋航海時に思い出深きものがあり、その同名の初代帆船海王丸で勤務できることに運命を感じております。

職務については、初めてのことでご迷惑をかけることもあるかと思いますが、海王丸の一員として尽力して参りますので今後ともよろしくお願いいたします。

海事課主任（二等航海士）阿部 大志（あべ ひろし）



2月1日付けで海事課主任として着任しました阿部大志です。出身は山口県です。幼い頃の将来の夢は漁師になることでしたが、両親の勧めで大島商船高等専門学校へ入学し、広大な海と大きな船に魅了され船乗りの道を歩み始めました。もともと海が大好きだったので高校生の

時にはヨット部に入部し、富山湾でも2回ほどレースに参加しました。

学生最後の遠洋航海では、2代目の海王丸に乗船し、海や船の知識を学びました。そこで私は「帆船で仕事がしたい」と強い気持ちを抱くようになり、神戸大学に編入学し航海訓練所（現：海技教育機構）に就職しました。6年間の海上勤務の中で海王丸と日本丸の航海士をさせていただきました。それでもなお、常に勤務希望場所を「帆船」と志願し続けた結果、ここ富山の初代海王丸で陸上勤務をさせていただくこととなり今に至ります。

まだまだ仕事を覚えることで精一杯ではありますが、基礎能力より基礎体力が自慢ですので、多くのことに協力出来ればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

海事課 業務技師 内倉 寛（うちくら ひろし）



3月末をもちまして海技教育機構を定年退職し4月1日より海王丸財団にお世話になることになりました横浜出身の内倉です。海王丸には20歳の頃2回乗船しカナダ、アメリカ西岸、ハワイ諸島を航海し貴重な体験をしました。

富山は練習船や観光で何回か訪れたことがあります。在職中にはより多くの名所を訪ねる事と、食を楽しみにしております。微力ではありますが海王丸保存の力になればと思っています。よろしくお願いいたします。

海事課 業務技師 青山 美千夫（あおやま みちお）



初めまして、この度新しく4月から伏木富山港海王丸財団にお世話になることになりました。青山美千夫です。出身は隣の新潟県です。単身赴任生活で慣れるまでは大変ですが頑張ります。

富山の大自然、目の前に見える立山の山並みを見ると、今日も一日頑張ろ

うと思う気になります。帆船海王丸の仕事をしっかりと考えていきたいと思っております。どうぞ皆様、よろしくお願いいたします。

海事課 技術員 上城 修（かみしろ おさむ）



この度伏木富山港海王丸財団に赴任となりました上城です。

富山の方々が大切に思っている海王丸を整備し、船体保存できるよう力を注いでいきたいと考えています。ここ海王丸は初めての任期となり多々御迷惑をおかけすると思っております。

関係者の皆様、ボランティアの皆様、先輩方、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

海事課 技術員 竹越 健一（たけこし けんいち）



この度、4月1日付に海王丸財団でお世話になることになりました、技術員の竹越健一です。初の陸上勤務ということで不慣れなところもありますが、一生懸命海王丸に尽くしたいと思っております。

また、富山県は自然が豊かで海産物がとても美味しく、趣味も含めプライベートでもこの貴重な陸上勤務を楽しみたいと思っております。よろしくお願いいたします。

海事課 技術員 田中 慧（たなか さとる）



この度、4月1日で海王丸財団の技術員に配属になりました田中慧です。初めての陸上勤務や本格的な独り暮らしなどで少々不安もありますが、精一杯努力して1日でも早く皆様の役に立てよう頑張る仕事をしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

海事課 機関保守員 住田 隆（すみだ たかし）



このたび4月1日付けで前任者清水さんの後任として着任致しました。

住田隆です。前任者同様よろしく御指導お願いします。

富山県魚津生まれです。昭和44年に富山県立水産高校を卒業後川崎汽船に入社 機関員、操機手、船舶技師、

三等機関士を勤めた後一身上の都合で退職平成元年航海訓練所に中途採用していただきました。平成1年9月16日で当海王丸は退役 財団法人帆船海王丸記念財団富山に払い下げられると聞き何かの縁を感じました。23年間訓練所で充実した生活そして楽しく他ではできない貴重な体験をさせていただき昭和23年無事定年退職致しました。28年ぶりの海王丸で再び微力ではありますが勤務できることをうれしく思っています。先日引継ぎで船内を回ったのですが退役前と変わらないほど各所手入れがいきどき財団の力のいれよう、そして海事職員の質の高さが窺えました。形あるものには全て寿命がありますが1930年(昭和5年)竣工から1世紀の老婆船とは思えないくらい輝いていました。

勤務は週1回ではありますが現状維持をモットーに努力いたす所存です。引き続き、皆様の御協力・御支援をお願いします。

退任の挨拶

総務課長 八坂 和明 (やさか かずあき)



平成 25 年 4 月から 3 年間、大変お世話になりました。総務課長としてなんとかやってこられたのは会長、局長をはじめ財団職員皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

3 年間を振り返ると、事務だけではなく、イベントや施設管理等の仕事に携わることができたことが新鮮な経験でした。一番印象に残ったのは、一昨年 8 月の新旧海王丸の W 展帆で、多くの方が新旧海王丸 2 隻のすべての帆を広げた姿に見入っており、このイベントに携われてほんとうに良かったと思いました。そして、年間 100 万人を超える観光客を迎えるには、地味な努力の積み重ねが必要と思いました。海王丸パークの景色の素晴らしさは、冬の澄んだ空気の中で見る、立山と海王丸、夕日の海王丸、この場所でずっといるからこそ見られる最高の景色でした。この景色を見られただけでも幸せです。

最後に、皆様方の益々のご健勝とご多幸、そして海王丸の発展を心からお祈り申し上げます。

海事課長 (一等航海士)

大坂 篤志 (おおさか あつし)



早いもので 3 年の勤務が間もなく終わろうとしております。平成 26 年 4 月に着任以来、皆様には公私とも大変お世話になり、誠にありがとうございました。

振り返ってみますと、天皇皇后両陛下がご臨席された「全国豊かな海づくり大会」、日本海側初となる練習船 2 隻寄港しての「W 展帆・トリプル公開」、全国で最も楽しいヨットレースとされている「タモリカップ」の開催など大きなイベントに携わることができ、とても良い経験をすることができました。また一般公開や海洋教室を通して、帆船海王丸が、地元の方からとても大切にされ、愛されていることを知るとともに、出来るだけ長くこの富山の地で帆船海王丸が活躍出来るよう手入れをしていかなければと強く感じました。もう間もなく海王丸は船齢 90 歳、富山に来て 30 年を迎えようとしています。帆船海王丸が今後も活躍していくためには、海王丸ボランティアの皆様をはじめ、多くの方々の協力が不可欠だと思います。今後ともどうぞ帆船海王丸をよろしく願います。最後になりますが、貴重な経験、知識を与えてくれた海王丸、そして財団の大きな柱である展帆事業を支えて下さった海王丸ボランティアの方々に感謝を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

海事課主任 (二等航海士)

伊藤 洸太郎 (いとう こうたろう)



早いもので富山に来てから 1 年 4 ヶ月が経ちました。初めての陸上勤務で、戸惑うことも多々ありましたが、無事に任期を終えることができました。これもひとえに財団関係者並びにボランティアの皆様の支えがあったからだと感じて

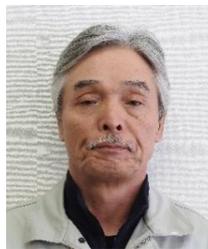
おります。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

富山での勤務はとても内容の濃い期間でした。やっと業務にもなれ、ボランティアの皆さんと仲良くなれたと思ったのに、この地を離れると考えたら、寂しさがこみ上げてきます。

財団勤務中はとても充実した日々を送らせていただきました。総帆展帆、海洋教室等を通して多くの方と関わることにより、人として成長できたのではないかと思います。またプライベートでは、8 月に長男が誕生し、一家の長としての自覚が芽生えました。公私ともに富山に来て本当によかったなと感じております。

2 月から海技教育機構の練習船で二等航海士として勤務をしておりますが、富山での皆さんとの思い出を胸に一生懸命頑張っていきたいと思っております。船に乗っていればまた新湊に入港することがあると思っております。その際には皆さんの元気な顔を見られることを楽しみにしております。短い間でしたが、本当にお世話になりました。そしてこれからも海王丸をよろしく願います。

海事課 業務技師 田中 正好 (たなか まさよし)



弥生の候、皆様には益々清祥のこととお喜び申し上げます。

さて私儀この度 3 月 31 日をもちまして、海王丸記念財団を退職しました。五年間の在職中は、公私共に温かいご指導ご厚情を賜り無事今日を迎えることが出来ました。心より感謝し厚くお礼申し上げます。

今後は、定年のない人生「日々是好日」と健康に留意しながら、今日一日を充実したものにしていきたいと思っております。今後とも変らぬご指導ご厚誼を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますと共に、お礼かたがた、ご挨拶申し上げます。

海事課 業務技師

豊島 昭一 (とよしま しょういち)



月日の経つのは早いもので、海王丸財団にお世話になり三年が過ぎました。航海訓練所で勤務している時は、富山にお世話になるとは思ってもいませんでした。ここ富山では初めての事が多く、海洋教室でのマスト登り、手旗信号、カッター訓練、ロープワーク等子供達に教えながら私自身も学んでいました。

三年目には船の木工整備を中心とする「船匠」という職務につきました。今までに、船のブロック修理をした経験はありましたが、一から組み立て作成する事は経験が無く苦労しました。一枚シーブはなんとなく出来ましたが、二枚シーブは苦労しました。他にも出来ないことが多々あったと思いますが、関係者皆さんの協力で、どうにか終れそうです。三年間ありがとうございました。ただただ感謝、感謝です。

海事課 技術員 川瀬 弘志 (かわせ ひろし)



3月末をもって当財団を退任し練習船に復帰することとなりました。二年間、財団関係者やボランティアの皆様には大変お世話になりました。富山のおいしい水、米、酒、魚そして、あたたかい人のおかげで非常に充実した時を過ごすことが出来ました。

4月からは海上勤務となります。皆様のご健勝と海王丸の益々の発展を洋上より祈念しております。ありがとうございました。

海事課 技術員 今村 政博 (いまむら まさひろ)



平成27年4月に着任以来、皆様には公私共に本当にお世話になりました。財団勤務は二度目だったので懐かしい顔ぶれの方々にお会いでき、充実した二年間を送ることが出来ました。総帆展帆、餅つき大会、海洋教室と色々楽しい思い出も出来ました。

ボランティアの方々、関係各所の方々には温かく接して頂き本当にありがとうございました。これから私は洋上の練習船に戻りますが、またお会いできる日があるかもしれません。その時はまたよろしくをお願いします。皆様お元気で！！

海事課 技術員 伊藤 大貴 (いとう だいき)



この3月で財団での勤務を終え、海上勤務に戻ることとなりました。財団勤務の二年間は今まで経験したことの無い仕事が多く、初めは分からないことや戸惑いがありましたが、海事課の先輩や財団の方々の支えもあって、無事ここでの生活を終えることができ感謝しています。今後も

富山には練習船で入港したり、個人的にも機会があればまた訪れたいと思っています。二年間ありがとうございました。

海事課 機関保守員 清水 等 (しみず ひとし)



思えば10年前、展帆ボランティア新規養成訓練を経て、第150回総帆展帆に参加しはじめたその同時期に「機関保守業務」を引き受けました。毎年の船舶検査に合格し訓練生や、見学者に安全安心そして快適な船として、持続可能な保守整備ができたと自負しております。

今後もボランティア(展帆、甲板、機関案内)活動の一員としてマザーシップの懐に可能な限り居座りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

**～「冬の雪上観察会in牛岳の森」参加報告～
ボランティアNo. 706 色部 春夫氏**

皆さん、こんにちは。色部 春夫です。

今回、富山県ナチュラルリスト協会主催の「冬の雪上観察会 in 牛岳の森」自然観察会に海王丸ボランティア5名と共に参加して来ました。

自然観察会当日は雨が降る中、老若男女80名程が参加者され各班(10名～12名位)に分かれて「カンジキ」を履き各班にナチュラルリスト協会員が付いて案内して頂き「牛岳の森」周辺の野山を散策して野鳥及び草木などを観察しました。今年は例年よりも雪が少なく、「タラの芽」が出ており春の訪れを感じたりしました。自然観察会の後、簡単なゲームをして楽しみ、その後お昼ごはんを食べて12:30頃に解散しました。



**オリジナルTシャツ・ポロシャツの作成について
ボランティアNo. 401 今井 雄治氏**

舵輪前号でTシャツの希望アンケートをお願いしましたが、希望の多さに驚いています。ありがとうございました。

色は、5色に絞らせて頂き、製作する事にしました。先日のベンディング時(4月8日)から申込みを受け始めています。今後、申込みは展帆時(4月23日、5月5日、5月28日)にお受けし、1回目の締切りを5月28日とさせて頂きたいと思います。そして、6月18日の展帆日にはお渡し出来ると思います。宜しくをお願いします。

舵輪 第149号
発行日 2017年4月
E-mail
by-the-wind@
kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団
〒934-0023 富山県射水市海王町8番地
TEL 0766-82-5181
FAX 0766-82-5197
URL <http://www.kaiwomaru.jp>